

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・前期・必修
	対象学科・専攻	機械・電子システム, 電気情報システム, 土木工学専攻
総合英語 (Comprehensive English)	担当教員	塚崎香織 (Tsukazaki, Kaori)
	教員室	図書館 2 階 (Tel . 0995-42-9061)
	E-Mail	tukazaki@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位数	講義 / 2 単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕×15回	
〔本科目の目標〕 <p>実用英語能力の向上を目指し、一例としてTOEIC400点を突破できる英語学力を総合的に養う。  TOEIC 関連のリスニング、および語彙力、構文、読解等の学習強化をはかる。</p>		
〔本科目の位置付け〕 <p>TOEIC400 点以上相当の英語力を養うための総合学習コース。  本科で習得した英語(語彙・文法・読解・リスニング等)の復習および発展・強化を主軸とする。</p>		
〔学習上の留意点〕 <p>毎回、語彙や文法の小テストを行う。常に積極的な態度で自学し、課題に取り組むこと。  その他、各自の必要性に応じて、語彙力・文法力・読解力・リスニング力強化のため、日々英語学習に励むこと。</p>		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 語彙(単語・熟語・慣用表現)	4	国際的なコミュニケーションの場面で用いられる単語・熟語・慣用表現を身につける。
2. 語法(品詞)	2	形容詞、副詞、名詞、動詞等の働きを理解し、正しい品詞を選択することができる。
3. 語法(冠詞)	2	冠詞の働きを理解し、正しい冠詞を選択することができる。
4. 語法(代名詞)	2	各代名詞の特徴を理解し、適切な代名詞を選択することができる。
5. 語法(動詞の形)	4	主語と動詞の対応(数の一致など)を理解し、動詞を適切な形にできる。また、現在分詞と過去分詞の用法を理解し、使い分けることができる。
6. 語法(時制)	2	時制を理解し、適切な時制を選択することができる。
7. 語法(仮定法)	2	仮定法の用法や慣用表現を理解し、文を作ることができる。
8. 語法(接続詞)	2	各接続詞の特徴を理解し、適切な接続詞を選択することができる。
9. 語法(関係詞)	2	関係代名詞、関係副詞の種類や用法を理解し、適切な関係詞を選択することができる。
10. 語法(比較)	2	比較の用法や慣用表現を理解し、文を作ることができる。
11. 読むことと聞くこと (TOEIC 模擬試験)	4	不完全な文に必要な情報を補い、文を完成できる。速い速度で、まとまりのある文章を読み、必要な情報や概要を理解できる。いくつかの文書の間を読み取ることができる。 会話を聞いて、会話が行われている場面や要点を理解できる。まとまりのある文章を聞いて、必要な情報や要点を理解する。
--- 前期期末試験 ---	2	授業項目 1~11 について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		試験において間違った部分を理解出来る。
〔教科書〕 新 TOEIC TEST 英文法出るとこだけ!(アルク) 新 TOEIC TEST リスニング出るとこだけ!(アルク)		
〔参考書・補助教材〕プリント教材		
〔成績評価の基準〕[外部試験(45%) + 定期試験成績(30%) + 小テスト(25%)] - 平常点(上限10%) <p>なお、外部試験は TOEIC 試験 400 点、IPTOEIC 試験 400 点、実用英検準 2 級以上あるいは工業英検 3 級以上の取得者のみ評価の対象とする。(注: TOEIC 試験または IPTOEIC 試験 400 点未満は 0 点とする。又、実用英検準 2 級以上あるいは工業英検 3 級以上を取得していなければ、0 点とする。)ただし、TOEIC 試験または IPTOEIC 試験の有効期限については、本科目受講前年度および前々年度の過去 2 年間である。実用英検または工業英検については有効期限はないものとする。</p>		
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕 2-3, 4-3 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 2-3, 4-3 〔JABEEとの関連〕 (a), (f)		